

各病院の主な取組み

各病院においては、専門的機能に応じて新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れるとともに、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<令和4年度の取組み>

◆ 大阪急性期・総合医療センター

- 心臓血管センターおよび脳卒中センターにおいて、低侵襲心臓外科手術等の高度医療の推進
(補助循環用ポンプカテーテル(IMPELLA):令和4年度 30件[令和3年度 19件])
- 大阪府市共同 住吉母子医療センターにおいて、院内の連携強化による高度医療の実施及び周産期医療の充実
(小児救急搬送患者数:令和4年度 1,966件 [令和3年度 1,491件])
- 生殖医療センターにおいて、公的病院として民間病院では実施できない生殖医療(合併症対応、人材教育等)を推進
(生殖補助医療患者数:令和4年度 113件 [令和3年度 91件])

◆ 大阪はびきの医療センター

- 大阪府アレルギー拠点病院として、総合的なアレルギー疾患対策の実施
(成人重症食物アレルギー患者数:令和4年度 67件 [令和3年度 69件])
- 救急診療科設置、小児救急搬送受入体制の24時間365日への拡大など、救急患者の受入れを拡大
(救急搬送受入件数:令和4年度 2,081件 [令和3年度 1,458件])
- 令和4年度より整形外科の診療を開始
- 地域医療支援病院として地域医療連携を強化
(紹介率:令和4年度 80.4% [令和3年度 78.9%])
(逆紹介率:令和4年度 110.2% [令和3年度 100.6%])

◆ 大阪精神医療センター

- 府内の基幹精神科病院として、措置入院等の受入を実施
(措置入院:令和4年度 16件 [令和3年度 36件])
(緊急措置入院:令和4年度 63件 [令和3年度 72件])
- 大阪府の発達障がい診療拠点医療機関として発達障がい精神科医師養成研修等の実施による府内診療体制の充実
(発達障がい精神科医師養成研修修了者数:令和4年度 16名 [令和3年度 8名])
- 依存症治療・研究センターにおいて、薬物・アルコール・ギャンブルの依存症に対する治療プログラムの運用及び効果検証

◆ 大阪国際がんセンター

- がんゲノム医療拠点病院として、がんゲノム医療を推進
- 難治がん・高度進行がん・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施
(手術実施件数:令和4年度 4,404件 [令和3年度 4,175件])
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施
(手術支援ロボット(ダヴィンチ)手術件数:令和4年度 604件 [令和3年度 483件])
(ESD内視鏡的粘膜下層剥離術:令和4年度 913件 [令和3年度 809件])

◆ 大阪母子医療センター

- 総合周産期母子医療センターとして高度かつ安定的な周産期医療を提供
(分娩件数:令和4年度 1,894件 [令和3年度 1,808件])
- 新生児・小児に対する高度専門医療の提供
(新生児を含む1歳未満児に対する外科手術:令和4年度 535件[令和3年度 656件])
- 研究所において、原因不明の先天性等新生児・小児疾患に対しての系統的な診断・解析の実施